

二学期制

4月から二学期制がスタートしました。宇城市教育指針「知性あふれ、個性に満ち国際感覚をそなえ強く優しい児童生徒の育成」を実現するために、児童生徒の学力充実と教職員の意識改革を目指して4月1日から、二学期制がスタートし半年が経ちました。宇城市立のすべての小・中学校で、ふれ合い活動と学びの連続性を求めて二学期制に取り組んでいます。では、学校はどう変わったのでしょうか。いくつかの取り組みをご紹介します。



1 家庭訪問を4月から夏休みへ

A 小学校では昨年まで4月～5月に約1週間かけて家庭訪問を実施していましたが、本年から夏休みに変更になり、先生と子ども、子ども同士のふれ合い活動が充実しました。

(1) 授業時数が10時間程度増えます。

(2) 増えた時間は、1年～6年の縦割り班活動「いじめ防止ポスター」作りや登校班によるプランターへの花植えなど、ふれ合い活動ができました。

(3) 昨年まで、4時間授業と給食と下校となっていましたでしたが、本年は、普通の授業ができ、子どもたちは落ち着いて生活し勉強に集中できたようです。



(4) 家庭訪問が充実します。

① 訪問の時間がゆっくりとれます。(昨年までは一人約20分)

② 内容が充実します。家庭訪問では次のようなことが話し合われました。

- ・4月～7月までの生活や勉強の様子
- ・児童のがんばりや良いところ
- ・テストの結果
- ・友達関係

※たくさん情報をもって話し合いができました。

2 運動会を9月から5月へ

本年度、宇城市の小学校の半分に当たる6校が運動会を5月に実施しました。

1年生にとっては、入学したばかりで、きついのではなからうかという心配もありました



が、各学校で工夫され、見事に成長してくれました。

運動会を5月に行うと、次のような良さがあるようです。

- ・運動会の練習を通して、早く体力がつけます。
- ・集団としての行動の約束が早く身につきます。
- ・上級生が早く、リーダーシップをとれるようになります。
- ・9月から10月にかけて、落ち着いて、前期末のまとめができます。

・9月の運動会に比べ、暑さ対策が取りやすくなります。

3 7月～夏休みの指導

二学期制を実施する理由として、三学期制では長期休業前に、通知表の作成・休業中の指導計画・学期のまとめとあわただしく、授業にじっくり取り組めないことがあげられていました。

二学期制を実施して、通知表作成の仕事が9月に移り、7月や夏休みの様子はどうだったのでしょうか。

- (1) 7月の様子
- B 中学校の例：教育相談の充実
B 中学校では、授業時数が1年間で16時間増えました。学力充実のために教育相談に力を入れ、7月から夏休みへの学びの連続性ができたようです。
- ① 夏休みの前日まで、普通の授業、落ち着いた生活ができました。
- ② 6月に定例の教育相談（生活全般）を行い、7月に学力についての教育相談ができました。
- ③ 行事の実施
- ・個別の家庭訪問の実施
 - ・エコセミナー（水俣現地学習会）を小学校5年生で行いました。授業時数が6時間増え、セミナーに参加するための準備がじゅくじゅくできました。
- ④ 夏休みの補充指導につながりました。
- ⑤ 7月は生徒の指導に集中できました。
- (2) 夏休みの様子
- ① 補充指導の実施
中学校の例：1週間程度実施できました（中3は受験対策の補充指導です）。
- ・小学校の例：4～5日程度行った学年・クラスがありました（7月までの復習を中心に行いました）。
- ② 教育相談の実施
・中学3年生全員の三者面談の実施
- ③ 行事の実施
- ・エコセミナー（水俣現地学習会）を小学校5年生で行いました。授業時数が6時間増え、セミナーに参加するための準備がじゅくじゅくできました。

備がじゅくじゅくできました。

- ・親子キャンプが実施されました。
- ・中学校では職場訪問が行われました。

学校の積極的な取り組みの様子をお知らせしました。

このような取り組み例の一部は、宇城市教職員の全員研修会で発表し、各校の参考にしています。

「問い合わせ先」
学校教育課 ☎32-11097



宇城市の教育ニュース②

地域で生きた学習を

学校家庭地域でスクラム
地域を教室に、近所の大人が先生に：そんな教育の場が広がりを見せています。

通学合宿

集会所・公民館などで共同生活をする通学合宿。子どもたちの生きる力の育成や地域との交流、地域の教育力の活性化を目的とし、市内6カ所で3泊4日の日程で行われています。

小川小学校の通学合宿の舞台は、商店街の交流施設「まちや」。高校生や近所の方の協力で、郷土料理や「もらい湯」などにチャレンジし、最終日には全国名産品「うまいもん市」を開催。「いらっしやいませ」、「デパ地下さながらの「まちや」に元氣良い声が響いていました。

家族や地域の方って有り難い、集団生活や仕事は大変だけど楽しい：そんなお土産が一杯つまった4日間でした。

農業体験

市内の小学校では、地元農家などの協力で、植え付けから収穫までの農業体験に取り組んでいます。

農家の子どもでも我が家の田畑のことを知らない時代、いつも食べているご飯の原型・稲もみと初対面という子どもも珍しくありません。

松橋小学校では、4Hクラブなどの協力で米作りに取り組んでいます。降りしきる雨の中、泥にまみれながら植えた稲は、黄金色に波打ち、収穫のときを待っています。「自分が育てたお米はおいしいー」、そんな幸せな瞬間はもうすぐです。



二学期制は、始まったばかりです。学習のあゆみや振り返りカード、秋休みなどについても、いろいろなご意見を参考にしながら検討し、児童・生徒にとってよりよい二学期制になりますよう、努力していきます。

